

2か月のくもの子の会だよ!

<H.26.1.31>

寒い日がつらうていますが、この冬もあとひと月ありて、春の3月かや、こきまわね。

インフルエンザや。心配な事も多うてすが、寒い中でも、残りの冬を楽しんですこしていつたにうてすね。

くもの子の会では、リズムで身体を動かして、血流をよこし、しんから暖まる活動もやっていますので、寒さには負けず、からだを動かすのも楽しませよう~。御参加おまちします。

1月号のつぎで、~ (PHPのうまひ子育て「甘じきせうや」お母さんや、ていすに)

キーワード③
励まし言葉

「あうすにわね」「一緒にや、てめよう」

子どもはいろいろなことに挑戦して、取り組んでいっています。しかし、時には、その過程の中で思うようにいかず、悔しいや。苦手で嫌なことに取り組まなければならぬことも出てきます。この時、「がんばって」と励ましかちですが、子どもには、てはむに、一生懸命がんばっているや(=、これ以上がんばりきれぬや)状況でいるやがあります。そのような場合には、かえて子どもにプレッシャーをかけてしまうやが、あつて、気をつけよう。そして、「あうすにわね」と、できぬ部分やつまずいてる部分を



「一緒にや、てめよう」と言、て励ましかちから親子で取り組んでみるやとて思っています。これではつまずいてどうにもならぬやも、親が、「一緒にや、てめよう」と声をかけると、たまたましては親子の姿に勇気をもらい、「うん、や、てめよう」と再挑戦するやも多うてます。これは親子の絆を深めるやにもつなげます。

<なごめる言葉「だんじりふい」>

自分だけが悪いやと思っていたのにできずかたに、鬼やかけず友だちやけんかして嫌な思いをしたやと、子どもが生活する母の出発にはいろいろなやがあります。

見過しかかてもうにうて時は、「き、と、お話をねはお友だちもわかってやると思いうえ」「き、と、だんじりふい」やと、話してやめよう。小学生になつて、親がなごめても、「お母さんには私の気持ちやんてわかんない」と言うやもあつてもやめん。そのような時は、「お母さんや、小学生や、お友だちに悪口を言われて悲しくな、たにやあつてや」とやと、自分の小学生や話をしてやめようやと思っています。

このやで、子どもは嫌な思いをした(は自分だけや悪いや、親が自分と同じやな経験をしてうてやで気持ちをよく理解してやてうてややがわかり、ほ、とし、情緒も安定します。また、親に対してより深い親近感もち、心強さを感じやてや。